

環境と健康

ポスター・標語コンクール

小中学生から2万点を超える応募

子どもらしさを大切に選考

十月三日、「平成二十三年度第二次環境啓発ポスター・標語コンクール」が公衆衛生会館で開催され、今年度の入選作品は二面参照。

品六十五点が決定した。入選作品は二面参照。環境啓発ポスター・標語コンクールは、当協会が地区衛生組織の活動支援を目的に毎年積み立てている「地域活動支援基金」を活用した事業で、公衆衛生推進協

議会在展開している学社組合の取り組みを促進し、環境への負荷が少ない持続的発展が可能な社会環境づくりに貢献することをねらいとしている。

今年度は十九の市町公衛協が参加。「地球温暖化防止

をテーマに募集したところ、小学校百九十五校、中学校四十五校から参加があり、ポスターは一万四千四百五十九点、標語は一万二千八百六十四点の作品が各市町公衛協に集まった。これら約二万点を超える作品は、ま



① 連載にあたって

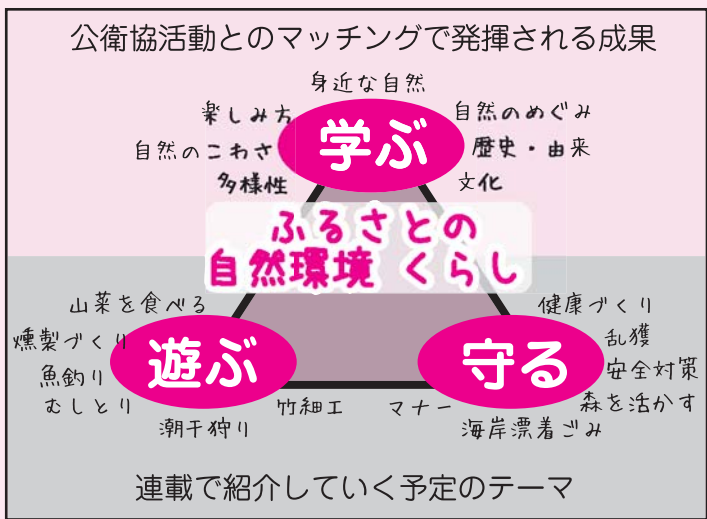
間と協力して遊ぶ協調性、効果を高めようとする工夫など、人間の成長に大きな影響を与える要素がたくさんあります。「あそび」を「学

新連載「里山・里海を楽しむ」では、公衛協の実践活動で活用されることを念頭に「自然を楽しむ環境を守る」という考え方で、自然遊びのメニューや環境を守るポイント、環境と関わりが深い民俗などをレシビ風に紹介します。

虫捕り網を持って野山を駆け回り、魚釣りの仕掛けを工夫して釣り糸を垂らす。野花摘みに熱中し飯事(ままご)や冠作りに興じる。皆さんの中には、時に自慢し、時に怒られながら、こういった体験を経て成長した方が多いことと思います。皆さんが体験された「あそび」には、生きものや資源を大切に教えるやアイデア、沸きあがる疑問を解き明かそうとする探究心、仲

ひと工夫で活動活性化

自然を「遊ぶ・学ぶ・守る」



とも、公衛協の大切な役割です。

例えば、ペットボトルを利用した魚獲りのしかけづくり、廃材やツル、枝を活用した工作、山菜を食べるプログラム、山や海の危険な生き物やマナーなどを紹介していきます。

公衛協活動を広く知ってもらい、理解と協力を得るには、仲間づくりが重要です。

里山や海岸での清掃やアドプト空間での定期清掃の際、単なる清掃で終わりにせず、このような活動を取り入れて、親子や子ども、若者が参加しやすいくなる一助としてください。

この連載記事を実践活動の参考として、ひと工夫加えた「公衛協らしさ」にご活用ください。

(地域活動支援センター 馬場田 真二)

きんせんか 琴線歌

「風鈴の チリンチリンと 鳴る音を 聴きつつ眠る 蚊帳の中かな」▼落語の舞台は、江戸時代が中心です。江戸時代は、「エゴ時代」と言われるほど、日常生活にエゴがあふれていた時代でした。物がなくても、庶民の生活や商売には、さまざまな智慧がありました。とにかく物は大事に、最後まで使います。

江戸時代は利再来 (リサイクル)

ものは、とことん繰り返し使っていました。例えば、豆腐やおでんなどを買いに行く時などは、家から器を持って行く。買い物に行く時にも、かごを使ったりするなど、今のようにはビニールやトレーがなくても、十分買物ができていました。▼また、商売にしても、道具屋(今でいうリサイクルバザーのようなもの)・たが屋(桶を修理する職人)・紙くず屋(今

でいう古紙回収業者) などなど、壊れてもすぐに捨てることをせず修理して使ったり、ごみを再利用するなど、まさにエゴの最先端をいっていたのが江戸時代ではないでしょうか▼さらに、循環型社会の典型が、トイレです。昔のトイレは、汲み取り式でした。そのトイレに溜まった糞尿を、畑の肥料として活用していました(うちも実家のトイレが汲み取り式でしたので、子どもの頃は、畑に糞尿をまくお手伝いをしていました)。

(落語家 平々亭 青馬)

ず各公衛協で選考され、この日集まったポスター二百十三点、標語二百十五点が選考委員による第二次審査の対象となった。選考委員会の場で、務中昌己委員長は、「子どもらしさを大切にして選考にあたりたい」と語った。

今年度は、十一月十日に佐伯区民文化センターで開催される第五十二回広島県公衆衛生大会の席上で受賞作品の表彰や紹介を行うほか、午後からは、ポスター・標語コンクール選考委員によるリレー講演も予定している。このリレー講演では、地域で作品を選考する際、選考する側がもっている欲

いい心得や、子どもたちがコンクールに参加する意義など、それぞれ専門分野の視点で講演いただく。公衛協にとって大きな柱となってきたこの事業は、来年で五回の節目を迎え、事業評価を行う時期にきている。この講演を通して、本事業をどう継続・発展させていくか、公衛協活動を



作品を審査する審査員。それぞれメッセージが読み取れ、選考には多くの時間がかかった



環境と保健の未来をめざして

財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表]

FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索

